

申志報



「二中健児の塔」慰霊祭に考える



69回目の慰霊祭でご焼香する学徒隊の同級生

先の沖縄戦において犠牲となった沖縄県立第二中学校職員生徒も安らかな永眠を願って建立された「二中健児の塔」は、1990年11月20日、奥武山より城岳公園に移設され現在に至ります。

毎年6月23日慰霊の日には二中健児の塔慰霊祭が行われ、遺族、同窓生、那覇高職員、PTA役員、クラス代表、吹奏楽部、合唱部な

どの方々が参加し御霊を慰めました。

今年の6月18日の新聞で大きく取り上げられたましたが、那覇高校では平和教育の一環として、慰霊の日を前に「校歌をとおして沖縄戦を考える授業」が6月17日の5、6校時に全学級で一斉に行なわれました。その授業の目的は「沖縄戦に対する実像を学び、認識を深め平和に対する意識を高めることで（中略）生徒達にとって身近である本校の校歌について学習することで（中略）平和を尊び祈念する時間を全校生徒で生み出すことを目的とする。」

ご存知の様に、那覇高校校歌の一番は沖縄戦のことが盛り込まれた次のような歌詞です。

1、世紀の嵐吹きすさみ／故山の草木形変え

千歳の伝統うつろいて／古りぬる跡も今はなし（作詞 真栄田義見）

この校歌を歌うたびに、沖縄戦の悲惨さ、先輩たちの犠牲を考えずにはられません。

授業は事前学習が十分に行われ、有意義な授業となったようで、授業後に生徒達は「戦争ですべてを失った苦しみを伝えかったから。」「変わり果てた沖縄を表現したかったから。」「悲惨な戦争体験と焦土化した校舎跡から出発した那覇高の歴史と平和を願う心を受け継いで行きたい。」等々と率直な感想が述べられていた。

その平和授業により、今年の慰霊祭には多くの生徒、教職員が参加し、例年にない、多数の参加者をお迎えしました。

更に今年の総会・懇親会の実行委員である37期生の皆さんが「今年度からは、慰霊祭の参加をもって実行委員会を解散する。」と、決意し参加して下さった。

平成 26 年度 城岳みらいツアーについて

今年度は男生徒 6 人、女生徒 5 人、引率教師 1 人計 12 人で 7 月 22 日（火）～7 月 25 日（金）の日程で、関東地域を視察しました。

7 月 22 日（火） 東京大学（東京都文京区）

南風原朝和教授（25 期）の案内で東京大学を見学。東大赤門前にて緊張した面持ちで集合した生徒たちは、講義室で南風原教授から講義を受けました。



東大赤門前に集合した生徒たち



7 月 23 日（水） 筑波大学（茨城県つくば市）

新城靖准教授（37 期）の案内で筑波大学を見学。筑波大学にある筑波宇宙センターの見学に生徒たちもドキドキ・ワクワク。大学生活の面白さに語って下さいました。



7 月 24 日（木） 早稲田大学／帝京大学

勝方＝稲福恵子教授（19 期）の案内で早稲田大学を見学。大隈重信総長のお膝元で記念撮影。青春時代を振り返りながら、勉強の大切さを熱く語る勝方＝稲福教授。



午後は黒島永嗣教授（25 期）の案内で帝京大学を見学。手術用顕微鏡を体験し、全員が難しい縫合体験をしました。

夜は神田一ツ橋の如水会館に於いて、関東城岳同窓会員 20 数名余の先輩方から貴重な体験を交えた懇親会が持たれた。それぞれグループに別れたが、先輩方からの色んな質問に堂々と答えた。



帝京大学で手術用顕微鏡を体験



関東城岳同窓会員との懇親会

7月25日（金）（三鷹光器）

黒島永嗣教授の案内で三鷹光器を見学しました。一同、日本の最先端科学技術機器に感動。中村勝重社長さん（右から二人目）が最後まで同行して下さったのに感激しました。



城岳賞にボクシング部が決定

平成 25 年度の城岳賞には県高校総体にて団体初優勝を成し遂げたボクシング部が決定しました。瀬良垣世堅先生の熱い指導のもと、メキメキと力をつけ団体初優勝の快挙を成し遂げ、全国大会に於いても優秀な成績をおさめました。



那覇高校ボクシング部員。二列目右端が瀬良垣世堅先生。



右：根那一暉君（全国大会ミドル級優勝）
中央：安里拓馬君（九州大会フラ
イ級出場）
左：普久原潤君（全国大会ウエル
ター級優勝）

平成26年度 第11回城岳講座について

平成26年度 第11回城岳講座が10月10日（金）に開催されました。今年は4期生から61期生まで、バラエティーに富んだ演題で、幅広い職種の方々が講師として参加して戴きました。

	講師名	期	所 属	演 題
1	金城 竜 人	38	那覇市市民防災課市民防災室長	愛する那覇高校生へのメッセージ
2	眞榮城 嘉 世	42	県警本部警務課課長補佐（人事係）	警察官の仕事
3	新城 正 紀	28	県立看護大学教授	私の研究から高校生に伝えたいこと
4	崎 原 永 作	25	公益社団法人 地域医療振興協会 沖縄地域医療支援センター	離島医療そして壁をとっばらおう
5	與那覇 恵 子	25	公立大学法人 名桜大学教授	Why do you study English??
6	前 田 里 香	54	沖縄ツーリスト（株）本店営業所	添乗業務の裏話し
7	金城 真 次	59	沖縄伝統組踊り子の会	琉球芸能に生きて
8	照 屋 友 彦	33	沖縄科学技術大学院大学広報ディ ビジョン地域連携セクション課長	沖縄科学技術大学院大学での仕事 ～世界最高水準の研究・教育をめ ざして～
9	赤 嶺 遼太郎	58	社会医療法人敬愛会 中頭病院	高校生時代の回想と、職業に関心 を持ったきっかけ
10	高 良 耕 平	54	沖縄県立浦添商業高等学校教諭	遠回り人生
11	安座間 安 史	26	県立辺土名高等学校前校長	郷土研究のススメ（沖縄の自然・ 生物研究の取組）
12	西 里 弘 一	18	株式会社碧 代表取締役	社会のために働く人になれ。
13	久場川 淳	25	琉球もろみ酢事業協同組合専務理事	職業について思うこと
14	内 間 健	40	沖縄タイムス社	新聞記者の仕事
15	糸 数 昌 和	4	ROK ラジオ沖縄方言ニュースキャスター	方言口座
16	高江洲 義 英	18	医療法人和泉会いずみ病院 理事長	芸術療法と環境療法～ストレス性障害～
17	前 原 信 達	27	株式会社都市科学政策研究所上席 研究員	自分の熱い思いを仕事につなげて いく
18	山 里 清	26	沖縄県漁業信用基金協会理事長	これから社会へ出ていく皆さんへ
19	宮 島 新	25	麻薬取締官	薬物乱用防止について
20	玉 城 清 酬	29	空と海とクリニック院長	アイディアは世界を変える
21	當 銘 健 也	61	海上保安庁	海上保安官の仕事について
22	又 吉 進	27	沖縄県知事公室長	私の高校時代そして現在



懐かしい母校で、力強く生き様を後輩達に語った講師陣。



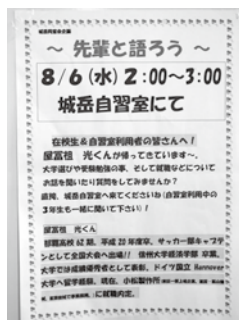
日常では話さなくなったウチナーグチをゆっくりと語りかける糸数昌和氏（4期生）

城岳同窓生の活躍

先輩と語ろう

A 氏奨学生第 1 期生である屋富祖光さん（62 期）がドイツのハノーバー大学留学から帰国して、小松制作所に就職内定したとのことで城岳同窓会に報告がありました。さっそく貴重な体験をした屋富祖さんに在學生との交流の場をもっていただきました。

8 月 6 日（水）午後 2 時～3 時、城岳自習室にて「～先輩と語ろう～」のテーマで大学選びや受験勉強、そして就職等についての体験を交えながら有意義な交流が持たれました。



3 年生へ体験談を熱く語る



味津々な話の後は全員揃ってハイポーズ

がんばる卒業生

今年、東北大学に進学した仲間慶人（65 期）さんは現在、東北大学川内北キャンパスで一般教養を学んでいます。東北大学のある宮城県仙台市は、「杜の都」らしく自然の多いきれいな街だそうです。



仲間慶人（みちひと）さん



授業を受けている川内キャンパスの A 棟



食堂への通路は自然が多く心を癒してくれます。



第 6 期 A 氏奨学生決定



平成 25 年度第 6 期の A 氏奨学生として、奨学金を贈呈しました。

- 左、大城千加さん
(琉球大学 観光産業科学部 観光科学科)
- 中央、伊敷理香さん
(徳島大学 総合科学部 人間文化学科)
- 右、石川裕一君
(高知大学 教育学部 学校教員養成課程)

平成 26 年度の主な事業計画

那覇高等学校の教育活動、在校生への支援事業及び会員相互の親睦を図るため関係各位の協力を得て、次の事業を実施する。

平成26年	4月9日（水）	第1回運営委員会
	4月14日（月）	平成 25年度会計監査（1）
	4月21日（月）	平成25年度会計監査（2）
	4月23日（水）	臨時運営委員会
	4月25日（金）	第1回理事会
	5月14日（水）	第2回運営委員会
	5月31日（土）	平成26年度総会・懇親会
	6月4日（水）	第1回会報委員会
	6月11日（水）	第3回運営委員会
	6月22日（日）	二中前通りクリーン大作戦
	6月23日（月）	二中健児の塔慰霊祭
	7月9日（水）	第4回運営委員会
	8月6日（水）	第2回会報委員会
	8月13日（木）	第5回運営委員会
	9月10日（水）	第6回運営委員会
	10月1日（水）	会報20号発行
	10月8日（水）	第7回運営委員会
	10月19日（金）	城岳講座
	10月22日（水）	第2回理事会
	11月12日（水）	第8回運営委員会
	11月15日（土）	第15回那覇高校・首里高校スポーツ対抗戦
	12月10日（水）	第9回運営委員会
平成27年	1月14日（水）	第10回運営委員会
	2月18日（水）	第11回運営委員会
	3月11日（水）	第12回運営委員会
	3月16日（月）	第7期A氏奨学生面接・選考委員会
	3月19日（木）	第7期A氏奨学生認定証の交付等
	3月27日（金）	第3回理事会（次年度事業計画案及び予算案）



二中前クリーン作戦 全校生徒が各々清掃分担区域を清掃した（6月22日）



二中健児の塔慰霊祭 式典に参列するクラス代表生徒たち（6月23日）

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん！どうぞご利用下さい。

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及事務室。
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。
なお、使用料金（光熱費）は1団体：1時間800円です。
- ・ 4階は自学自習室として、学校が活用しています。

■城岳同窓会総会・懇親会

平成 26 年度の城岳同窓会総会・懇親会は 5 月 31 日に ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービューで開催されました。総会には代議員を含め 100 人余が参加し、引続き懇親会には 837 人の同窓会員が一堂に集い、盛大に行われました。「ちなじ ひるがさな 城岳ちふえー！！」(ツナガル ヒロガル城岳スピリッツ)をテーマに掲げ、実行委員会(37 期生)を中心に企画・運営され、今年度は卒業 60 年を迎えた那覇高七期生に記念品が贈呈されました。



社員総会に於ける源河徳博氏の会長あいさつ



懇親会では稲嶺恵一氏(5期生)により高らかにカーが唱えられた。



卒業 60 周年を迎えた 7 期生が元気ハツラツ登壇した。

事務局だより

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄附金、事業収益金及びその他の収入をもって充ております。

さて、会員の拠出金は、年会費 1,000 円または、終身会費 5,000 円によって賄われております。年会費を一括で 5,000 円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。

伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかわりとご芳志をお願い致します。

振 込 先：琉球銀行樋川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301

口座名義人：一般社団法人城岳同窓会 会長 源河 徳博(ゲンカ ノリヒロ)

ご芳名の前に卒業期をご記入下さい。

問 合 わ せ：一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英

〒 900-0014 沖縄県那覇市松尾 1 丁目 21 番 53 号

TEL (FAX) : 0 9 8 - 8 6 7 - 2 5 2 5

城岳同窓会から学校への支援事業

1. 奨 学 金	1,700,000 円	(A 氏奨学金、海外留学)
2. 教育奨励	200,000 円	(首里高とのスポーツ交流)
3. 慰 霊 祭	700,000 円	(二中健児の塔)
4. 行事補助	20,000 円	(部活動補助)
5. 城岳講座	40,000 円	(講師謝礼)
6. 教育補助	490,000 円	(城岳未来ツアー 200,000 円)
		(卒業証書用丸筒 70,000 円)
		(終身会員証 40,000 円)
		(二中前クリーン作戦 30,000 円)
		(自学自習室利用補助 100,000 円)
		(城岳賞 50,000 円)

合 計 3,150,000 円



グラウンド工事が始まりました

昨年新校舎が完成しましたが、2014年10月より旧校舎跡でのグラウンドの工事が始まりました。正門から入ると正面が新校舎、右側がグラウンドになります。平成27年3月31日までの工期で工事が進められています。



島田叡氏 (戦中最後の沖縄県知事) 事跡顕彰の輪を広げ、推進しよう！

沖縄がまさに激戦地になること必至の状況下の昭和20年1月、沖縄県最後の官選知事として死を覚悟で決然と沖縄に赴き、戦禍の中において献身的に県政を統率し、県民の安全と食糧確保など困難極まる課題に奔走。沖縄県民から「沖縄の島守」として慕われ、行年43歳で最期を遂げられた島田叡氏。その業績は、戦後69年という長い歳月を経た現在においても、多くの県民の胸に深く刻まれ、世代を超えて語り継がれています。

さて、本同窓会は昨年6月同氏の縁により、出身母校である旧制神戸二中・現兵庫高校同窓会「武陽会」と「至誠・友好交流協定」を締結し、同窓会及び学校間の交流を深める事業を推進しています。また、没後70年を来年に控え、同氏の事跡を顕彰する期成会（会長：嘉数昇明）を立ち上げ、その事務局を本同窓会に置き、本同窓会がその母体の核として活動を展開しています。昨年11月の期成会発足以来、およそ3万名余の署名と20余団体の賛同支援を得るなどその運動の輪は、県民の間に大きな広がりを見せています。

現在、この事業を推進するための資金造成を図る取り組みが、県下で広く「県民募金」として実施されています。ついては、会員の皆様が県民募金の趣旨にご賛同いただき、ご協力賜りますようお願い致します。

振込用紙については下記の城岳同窓会にお問い合わせ下さい。

城岳同窓会ホームページ
<http://www/jogaku.or.jp>

城岳同窓会会報

編集発行 城岳同窓会 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525

E-mail : yogi@jogaku.or.jp